

## 『携帯電話からの119番のかけ方について』

携帯電話からの119番通報が増えています。携帯電話からの通報では、通報地点を管轄しない消防本部につながる可能性があります。

携帯電話を利用して119番通報をするときは、次の点に注意して下さい。

- 1 局番なしの119番に電話をかけます。
- 2 消防本部の係員が応答したら、通報の種類（火事・救急・救助など）を伝え、係員がお聴きする内容について分る範囲で答えて下さい。
- 3 通報場所の住所（市町村名から伝える）と携帯電話の電話番号を正確に伝えて下さい。  
（通りがかりなどの理由で住所などが分らない場合は目標物を詳しく伝えて下さい）  
目標物の例：付近の交差点や通りの名前、店舗の名称など
- 4 通報地点を管轄しない消防本部に通報がつながった場合、通報地点を管轄する消防本部（通報地点を管轄する消防署）へ、119番の転送（つなぎ替え）が行われます。
- 5 119番を転送するとき、時間がかかる場合がありますので、通話を切らずにお待ち下さい、管轄消防本部（管轄消防署）の係員が応答します。
- 6 通報後はしばらくの間は電源を切らずに、現場の近くの安全な場所にいて下さい。

『119番の通報の仕方』

〔火 災〕



消 防 署	通 報 者
<p>○ 「119番 横浜消防署です 火事ですか？救急ですか？」</p> <p>○ 「場所はどこですか」</p> <p>○ 「近くに、何か目標はありますか」</p> <p>○ 「何が、どのくらい燃えていますか」</p> <p>○ 「逃げ遅れや、けが人はいますか」</p> <p>○ 「あなたの、お名前と電話番号を 教えて下さい」</p> <p>○ 「わかりました、直ちに出勤します」 「あなたも、早く避難して下さい」</p>	<p>◇ 「火事です」</p> <p>◇ 「横浜町〇〇地区の〇〇〇〇宅です」 (例) (三保野地区の〇〇宅です)</p> <p>◇ 「〇〇商店から南へ2軒目です」</p> <p>◇ 「〇〇から火が見えています」 (例) (台所から火が出て、激しく家が 燃えています)</p> <p>◇ 「分かりません」 (できるだけ詳しく伝えて下さい)</p> <p>◇ 「私は、消防花子です 電話番号は78-〇〇〇〇です」</p> <p>◇ 「はい、わかりました」</p>

※ 緊急時は誰でも気が動揺しています。落ち着いてはっきり伝えましょう！

『119番の通報の仕方』

〔救急〕



消 防 署	通 報 者
○ 「119番 横浜消防署です 火事ですか？救急ですか？」	◇ 「救急です」
○ 「場所はどこですか」	◇ 「横浜町〇〇地区の〇〇〇〇宅です」 (例) (三保野地区の〇〇宅です)
○ 「近くに、何か目標はありますか」	◇ 「〇〇商店から南へ3軒目です」
○ 「どうしましたか」	◇ 「父親が胸の痛みを訴えて、倒れました」 (誰が、どのようにして、どうなったと 簡潔に伝えて下さい)
○ 「意識、呼吸はありますか 年齢は何歳ですか」	◇ 「呼吸はしていますが、意識はありません」 (分る範囲で意識、呼吸の有無 年齢を伝えて下さい)
○ 「あなたの、お名前と電話番号を 教えてください」	◇ 「私は、消防花子です 電話番号は78-〇〇〇〇です」 (通報後も連絡可能なむ電話番号を 伝えて下さい)
○ 「わかりました、直ちにそちらへ 向かいます」	◇ 「はい、わかりました」

※ その他の詳しい状況、持病、かかりつけ病院などについて尋ねることがありますので  
答えられる範囲で伝えてください。